指導部だより（あったかハート推進週間の取組）

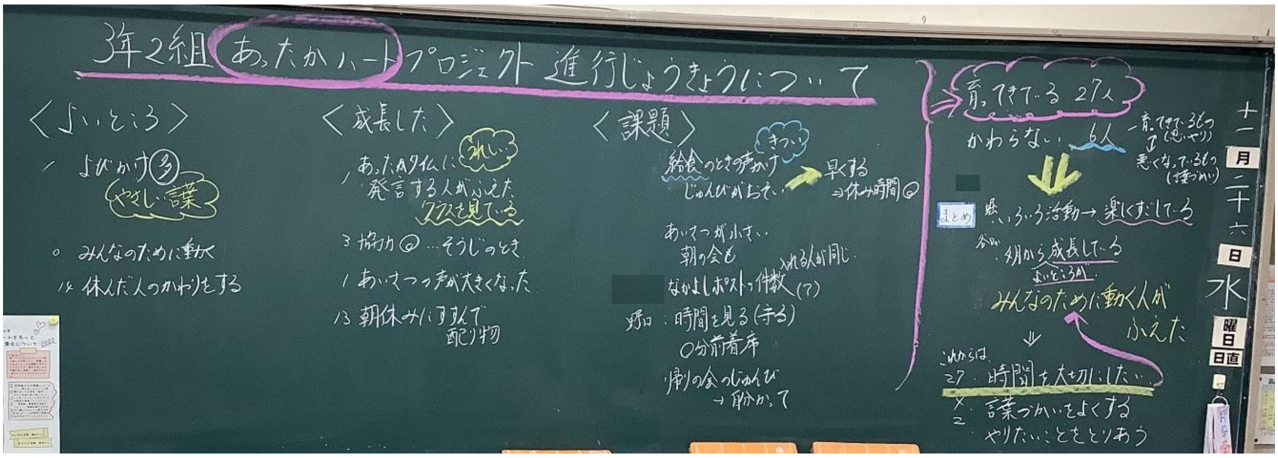
【温かな心の育成】

附属小学校では、子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。11 月の「あったかハート推進週間」を以下の内容で行いました。

月	期　　間	内　　　　容
11 月	11/20（木）～28（金）	学級活動⑤「みんなあったかハートの学級」になるための話合い

１　実際の授業

〈3年生〉



３年２組では、学級の様子を振り返り、「あったかハート」は大きくなっているかを話し合いました。４月から成長しているところや課題を確認することで「これからどうすれば、もっとあったかハートが大きくなるか」を考えました。最も多かったのは、「時間を大切にしたい」という意見でした。「時間を大切にする」には、「時間を守って行動する」という意味もありますが、「与えられた時間を何のために、誰のために使うか」という意味もあります。「みんなのために行動する人が増えた」ことで、さらにあったかハートは大きくなっていくと思います。

＜感想＞
- これまでの取組で、あったかハートを大切にすることができました。あったかハートは、他の人を気にかけたり、応援したり、他の人のために動くことだと思いました。
- みんなのために、自分から進んで活動できるようになったと思います。あったかハートは、みんなのために動くことだと思いました。

２　各学年で行った授業の感想

- これから、もっとあったかハートな学級になるために、学校のルールを大切にしたいです。友達が悲しむことはしないように、みんなで気をつけたいです。（１年生）
- みんながあったかハートな学級になるために、もっと友達に優しくしたいです。優しくすると、学校がもっと楽しくなると思います。キラキラタイム（学級の素敵な友達の紹介の時間）では、たくさん発表して、友達をあったかハートにしたいです。（２年生）
- 友達と話す時に、どうやったらあったかハートな気持ちになるか、考えながら話すことを心がけました。相手の立場に立ってみると、その言葉を言われて嬉しいか、悲しいかが分かりました。相手の立場に立って考えてみることは大切だと思いました。（４年生）
- ４月から比べて成長したことが増えてきたけれど、まだ言葉づかいがよくないことがあると思いました。学級でもあったかハートの木を作ったり、特技を披露する集会をしたりして、お互いのよさを認め合える仲間になっていきたいと思います。（５年生）
- キラキラ集会（特技を披露し合い、互いを認め合う学級集会）を通して、普段は知らない友達の特技を知ることができて、とても楽しかったです。友達のがんばっているところを見ると、一人ひとりの努力が分かったし、学級の理解度も上がりました。これから、もっとお互いを尊重し、個性を伸ばすことができる学級を目指したいです。（６年生）

３ あったかハートをもっと大きくしよう集会

１２月４日（木）に、全校で「あったかハートをもっと大きくしよう集会」を行いました。初めに、各学級から、あったかハートの取組について発表をしました。「あったかハートな行動」としては、「笑顔で過ごしている」、「友達に優しい声かけをしている」、「自分から進んで、友達のために行動している」、「友達のよさを認め合っている」などがありました。「これからもっとあったかハートを大きくするための行動」としては、「学級や登下校で、ルールやマナーを守る」、「相手の話を真剣に聞く」、「さわやかなあいさつをする」などがありました。

集会を企画した生活委員会からは、附属っ子のあったかハートが大きくなるために、もっとあいさつが広がればよいと考え、提案しました。よいあいさつのポイントとして、「相手の目を見て、相手に伝わる声の大きさで、明るく、あったかハートで」と紹介し、実際にやってみました。子供たちからは、「あいさつをして、気持ちがよかった」、「これまであいさつをがんばってきたけれど、何か足りないと思っていた。今日、あいさつをしてみて、足りないものが満たされたような気がした」などの感想がありました。

＜あったかハートをもっと大きくしよう集会の感想＞

・他の学級の取組を知ることができてよかったと思います。また、あいさつをしてみて気持ちがよかったし、あいさつをされたら、嬉しく思いました。

・各学級の発表を聞いて、参考にしようと思ったし、学級ごとではなく、全校があったかハートになるといいなと思いました。生活委員会の提案では、あいさつの大切さが分かりました。自分が元気に言うと、相手も元気になり、よりよい関係になると思いました。自分から明るいあいさつができるようになりたいです。